

農村集落部門：田尻自治公民館

○ むらづくりの主体の概要

- ・名称：田尻自治公民館（長島町）
- ・代表者：上窪 正志（うえくぼ まさし）氏

田尻自治公民館の内部組織である「田尻地区の自然を守る会」を中心に，農家と漁家がともに発展するため，地域に存する農地・農業用水等の資源や農村環境の良好な保全と質的向上に取り組んでいる。

むらの目標，将来像

- ・集落で活発な話し合い活動を実施し，住民との合意形成を図りながら，農地の有効活用を実践し，農業の振興を通じた集落づくりに取り組んでいる。
- ・集落の地域資源である山・畑・海を一体として考え，農業の発展と併せて漁業の発展も推進している。

「むらのかたち」の実現に向けた取組

- ・計画的な基盤整備や畑かん整備，土作り等の支援を通じ，後継者の定着につながっている。
- ・自主財源による共同利用機械（深耕機）導入や土壌診断マップの活用によるばれいしよの生産性向上に取り組んでいる。また，深耕機の賃貸収入や太陽光発電の売電収入を公民館の自主財源としている。
- ・深耕や計画作物栽培を通じた海洋への赤土流出防止への取組など，農業と併せた漁業振興に取り組んでいる。

多様な主体との連携した取組

- ・集落内の様々な職種の若者が，むらづくりの牽引役となり，多彩なイベントの企画，運営に取り組んでいる。
- ・関係機関と連携し，農地中間管理事業に取り組み，農地流動化率100%にするなど農業振興を推進している。

<活動状況>



住民で海岸の清掃活動



今後の畑かん営農について検討



深耕機の導入で生産環境改善